

第1学年2組 国語科
 単元名：おうちの人につたえよう！
 「おもい出して かこう」

指導者 遠藤 康平

児童の願い

「なわとび大かい」で自分がしたことを、家の人に伝えたい。



ゴール

「なわとび大かい」で自分がしたことを報告する文章を書き、家の人に自分の活動を伝える。

本単元で付けたい力

- 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。

【書くこと イ】

- 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くことができる。

【書くこと ウ】

言語活動

「なわとび大かい」で自分がしたことを報告する文章を書く。

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

	A	B
【主体性】	・知らせたいという思いを膨らませて、より伝える文章を書きたいという思いをもち、経験したことを伝える文章を書こうとしている	・知らせたいという思いを膨らませて、経験したことを伝える文章を書こうとしている。
【思考力】	・伝えたい出来事について、したことや思ったこと、周りの様子など、必要な事柄を書き出して事柄の順序に沿って並べ、書きたいことに合わせて情報を取捨選択している。 ・順序を表す言葉を用いながら、経験した出来事について、つながりのある文章を書き、その時の様子や気持ちが伝わるように工夫しながら書いている。	・伝えたい出来事について、したことや思ったこと、周りの様子など、必要な事柄を書き出して事柄の順序に沿って並べている。 ・順序を表す言葉を用いながら、経験した出来事について、つながりのある文章を書いている。
【自己理解】	・経験した出来事を伝える活動を通して、順序を表す言葉を用いて書くよさに気付き、次の学習へ学びをつなげようとしている。	・経験した出来事を伝える活動を通して、順序を表す言葉を用いて書くよさに気付いている。

「課題発見・解決学習」の過程(全8時間)

学 習 活 動	育成したい資質・能力
生活(11月) ○なわとび遊びを通して、「なわとび大かい」を開く。	
課題の設定(1) ○「なわとび大かい」の活動を振り返り、自分がしたことを、家の人に伝えたいという思いをもつ ・文章で伝えると、口頭で伝えるよりも、読んだ相手に間違いなく伝わるということに気付く。 ・間違いなく伝わる文章を書くためには、文章の書き方を知る必要があることに気付き、本単元の学習計画を立てる。	主体性
情報の収集(3) ○したことを詳しく思い出して事柄の順序に沿って書く。② ・体育の時間に全員で行ったなわとびあそびでしたことや思ったことを1つずつ短冊カードに書き出し、したことの順に沿って並べる。 ・文例から、順序よくつながりのある文章を書くためには順序を表す言葉を使うことが大切であることを理解し、短冊カードに順序を表す言葉を書き入れる。	思考力 自己理解

学 習 活 動	育成したい 資質・能力
<p>○文の中にかぎ（「J」）を取り入れることで、様子がよりはっきりと伝わることを理解し、かぎ（「J」）のある文を書き入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かぎ（「J」）のある文と無い文を比較し、かぎ（「J」）があるよさに気付く。 ・短冊カードにかぎ（「J」）のある文を書き、順序を考えて前時に書いた短冊カードと共に並べる。 <p style="text-align: right;">【本時】</p>	思考力
<p>整理・分析（1）</p> <p>○前時までの学習をもとに、「なわとび大かい」で経験したことを報告する文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短冊カードを用いて、不足している言葉を補いながら、順序を表す言葉とかぎ（「J」）のある報告文を書く。 	思考力
<p>まとめ・創造・表現（1）</p> <p>○家の人に読んでもらうために、前時に書いた「なわとび大かい」の報告文をもとに、友達同士で本当に伝わりやすいかどうかを確かめ合う。</p>	思考力
<p>振り返り（1）</p> <p>○完成した報告文を保護者に渡し、「なわとび大かい」の後、保護者から報告文に対する感想を貰い、経験したことを報告する文章の書くことのよさに気付く。</p> <p>学びのモニタリング</p> <p>○自らの学びや学び方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを報告する文章を書くときに、順序を表す言葉を用いたりかぎ（「J」）を取り入れたりすることで、伝わりやすい文章を書けるようになったことに気付く。 	主体性